

令和 2 年 度

事 業 計 画 書

公益財団法人 奈良県食肉公社

事業計画書目次

令和2年度事業計画	1
令和2年度収支予算書	3

令和2年度事業計画

1. 事業の実施方針

当社は、平成26年4月1日から公益財団法人に移行し、畜産振興と県民生活の向上に寄与する公益目的に沿って、衛生的な食肉の提供を行うためと畜等に関する事業を行うとともに、食肉取引の適正化を図るため食肉地方卸売市場を開設し、県民に安全・安心な食肉を提供してきたところです。

平成30年6月13日に公布された改正食品衛生法により、世界的に推奨されている食品の衛生管理手法である「HACCP（ハサップ）」に沿った衛生管理が制度化され、と畜場法も同様に同日改正されました。

ついで、令和3年6月の改正食品衛生法施行に向けて、中核事業である「と畜事業」のさらなる衛生管理の徹底を図るとともに、「施設管理事業」においても「HACCP」に対応した衛生管理設備等の改修及び経年劣化した設備の更新を積極的かつ計画的に進めていきます。

また、奈良県食肉地方卸売市場の適正かつ健全な運営の確保を進めます。

2. 事業計画の概要

(1) 安全・安心なと畜事業の実施

- ・ 県内唯一のと畜場として、安全・安心なと畜事業の実施に努めます。
- ・ 「HACCP」に対応するためソフト面の取り組みとして、実施マニュアルの策定と実行により、食品安全レベルの更なる向上を図ります。
- ・ 食品衛生検査所等の関係機関と綿密な連携のもと、継続的な現場実践により作成した「HACCP」実施マニュアルの作業手順の再確認と、その検証にも引き続き取り組みます。

また、職員の意識向上を図るため、職場内外の研修や現場実践等を繰り返し実施し、より実効性のあるものになるよう努めます。

- ・ ハード面においては、「HACCP」制度化のため必要となる施設整備基準に沿って対応できる施設をめざし、年次計画により引き続き衛生管理設備等の改修を進めます。
- ・ 経年劣化が進んでいる施設や設備等についても、修繕等維持管理を行うとともに、今後必要となる設備の更新等も計画的に進めます。
- ・ 衛生管理に留意しながら、牛の個体識別情報管理により、生産から流通までの

履歴を把握できるトレーサビリティ（追跡可能制度）による管理を行います。

(2) 効率的で透明性の高い運営

- ・ センターの基幹施設であり、枝肉を保管する上で最も重要な役割を担っている冷却設備のうち17基について、平成27年度から平成29年度までの3カ年計画により、順次更新したところ。この設備更新については、11年間のリース事業の活用により設備投資費用の平準化及び軽減化を図りつつ施設の整備充実を図っています。
- ・ 収入面においては、と畜事業における衛生管理の強化を図る等、出荷受入体制の推進を行い、消費者に対し安全・安心な食肉の供給を推し進めるとともに、関係団体との連携のもと、大和牛とヤマトポークの大和畜産ブランドをはじめとする県内産肉畜を中心にと畜頭数の増加に努めます。
- ・ 支出面においては、従来より経費削減を進めてきましたが、物品調達方法の見直し等により更なる経費の削減に努めます。

(3) 治水・環境対策等

- ・ 環境保全対策協議会を設置し、治水・環境対策のために必要な協議を行います。
- ・ 地域に開かれたセンターとして多目的グラウンドを一般開放し、と畜に対する理解を深めるために、施設見学者の受入を実施します。

(4) 奈良県食肉地方卸売市場の管理

- ・ 市場開設者として、適正かつ健全な運営を確保するため、卸売業者、買受人等の指導、監督に努めます。
- ・ 卸売市場法関係法令の改正に伴い、奈良県食肉地方卸売市場業務規程を改正し、公正な取引環境の場としての公的な役割を維持しつつ、取引の実態に応じて創意工夫を生かした取組を促進することにより、市場の活性化を図ります。

令和2年度 収 支 予 算 書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	公 1			
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	71,000		71,000
基本財産受取利息	0	71,000		71,000
事業収益	43,954,800	9,353,200		53,308,000
施設管理事業収益	3,276,000	0		3,276,000
と畜事業収益	31,931,000	0		31,931,000
法人管理事業収益	8,747,800	9,353,200		18,101,000
受取補助金等	348,896,000	0		348,896,000
受取地方公共団体補助金	348,896,000	0		348,896,000
雑収益	90,000	3,668,000		3,758,000
雑収益	90,000	3,668,000		3,758,000
経常収益計	392,940,800	13,092,200		406,033,000
(2) 経常費用				
事業費	451,103,463	0		451,103,463
役員報酬	3,262,000	0		3,262,000
給料手当	125,428,000	0		125,428,000
福利厚生費	21,098,000	0		21,098,000
退職給付費用	4,666,000	0		4,666,000
旅費交通費	75,000	0		75,000
通信運搬費	157,700	0		157,700
消耗什器備品費	378,000	0		378,000
消耗品費	5,982,000	0		5,982,000
修繕費	8,000,000	0		8,000,000
工事請負費	18,150,000	0		18,150,000
印刷製本費	225,000	0		225,000
光熱水料費	40,956,500	0		40,956,500
賃借料	16,501,500	0		16,501,500
保険料	820,100	0		820,100
租税公課	10,832,000	0		10,832,000
委託費	135,567,000	0		135,567,000
役務費	350,000	0		350,000
雑費	192,000	0		192,000
補償補填及び賠償金	300,000	0		300,000
減価償却費	58,162,663	0		58,162,663
管理費	0	13,911,905		13,911,905
役員報酬	0	598,000		598,000
給料手当	0	4,991,000		4,991,000
福利厚生費	0	5,914,000		5,914,000
旅費交通費	0	25,000		25,000
通信運搬費	0	25,300		25,300
消耗品費	0	635,000		635,000
印刷製本費	0	36,000		36,000

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	公 1			
光熱水料費	0	43,500		43,500
賃借料	0	23,500		23,500
保険料	0	5,900		5,900
租税公課	0	613,000		613,000
支払負担金	0	13,000		13,000
役務費	0	154,000		154,000
雑費	0	15,000		15,000
減価償却費	0	819,705		819,705
経常費用計	451,103,463	13,911,905		465,015,368
当期経常増減額	△ 58,162,663	△ 819,705		△ 58,982,368
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益				
	0	0		0
経常外収益計	0	0		0
(2)経常外費用				
	0	0		0
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 58,162,663	△ 819,705		△ 58,982,368
一般正味財産期首残高	1,892,801,587	195,531,250		2,088,332,837
一般正味財産期末残高	1,834,638,924	194,711,545		2,029,350,469
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高	1,013,684,280	163,315,720		1,177,000,000
指定正味財産期末残高	1,013,684,280	163,315,720		1,177,000,000
III 正味財産期末残高	2,848,323,204	358,027,265		3,206,350,469

1 公益目的事業会計

公 1

と畜場及び食肉市場を設置し、牛、豚のと畜及び冷蔵保管を行うとともに、施設の維持管理を行う。

- ①施設管理事業
- ② BSE 対応施設維持管理事業
- ③衛生管理設備更新事業
- ④と畜事業 等

2 法人会計

法人の管理事業

